

暮らしのための県政を！
増税の前にやるべきことがある！

— 民主党神奈川県議団の政策 —

不安を安心へ 民主党神奈川県議団の理念



前県議会議員

こうや清

一人一人の生命を大切にする社会。それが私たち民主党の目指す社会です。税金のムダづかいを徹底的になくし、県民生活の立て直しに使う。

政治とは、政策を立案し、予算の優先順位を決めることです。私たち民主党県議団は、県民の暮らしを第一に考え、前例踏襲ではなく、県民の皆さまと一緒に考え行動し、すべての人が互いに役に立ち、居場所を見出すことのできる神奈川にしたいです。

私は40数年間の政治キャリアを凝縮し、初心に帰り、皆さまのために働くことを誓います。

老後・高齢化社会への不安(高齢者)を安心にする道標

厚生労働省「人口動態統計」によると、2015年の65歳以上の高齢者人口(割合)は3,395万人(26.8%)が、2025年には3,657万人(30.3%)、そのうちの75歳以上の人口(割合)も1,646万人(13.0%)→2,179万人(18.1%)になると見通しています。

1965年では9.1人で1人を支えていた「胴上げ型」から、2012年では2.4人で1人という「騎馬戦型」、2050年には1.2人で1人を支える「肩車型」社会が訪れるとしています。また、全国平均で1.53倍のスピードで高齢化していくのに対し、神奈川は1.87倍のスピードで高齢化していきます。

また、27年度から介護報酬が2.27%引き下げられることが決定し、職員待遇は月収1万2千円増とされていますが、事業者向け報酬は実質4%の減額となっており、サービス低下が懸念されます。政府与党は昨年6月、①要支援1・2の訪問介護・デイサービスを介護保険から外し、②特別養護老人ホームの利用を「要介護3以上」に制限し、③一定所得以上の利用者負担を1割から2割に引き上げるといった大幅な負担増・サービスカットを行う法案を強行採決で成立させました。

根本的に、人口は増えるという制度設計で制度化されたため、小手先だけの修正ではなく、抜本的に制度を作り直さなければならぬと思いますが、それは民主党へ働きかけ続けます。

●**高齢者福祉施設の整備促進**・・・神奈川県での入所待機者数は2011年4月で約6,000人。専門的な介護が必要になった方には特養へスムーズに入所できるよう、今度とも特養の整備を強力に推進するとともに、国に対して更なる支援を求めます。

●**在宅介護への手厚い支援**・・・住み慣れた地域で人生を送れるよう、ADLの維持向上、QOL向上のため、地域で「予防」「医療」「介護」「生活支援」を提供する「地域包括ケアシステム」を推進し、「在宅介護減税」の導入など、手厚い支援体制構築を目指します。

●**先進的な認知症対策**・・・本来人間は、認知症になるのは当然という認識を持つ必要があり、寿命が飛躍的に向上したため、昔は認知症にならずにお亡くなりになっていただけとする学者もいます。この視点に立ち、地域での「徘徊高齢者SOSネットワーク」と警察の情報を共有し、「徘徊行方不明者ゼロ」を目指します。また「未病センター」を活用し、研究・実践を行う。

●**大家族の支援**・・・住宅建設費補助、固定資産税軽減など

●**買い物弱者対策**・・・商店街配達サービス、代行サービスなど

●**後見人育成で高齢者生活を守る**・・・民間との連携を図るなど

24時間365日待ったなしの支援を！

子育て・教育への不安を安心にする道標

晩婚化が進み、不妊に悩む夫婦が増加しています。また、不妊体験者の支援団体が行った調査によると、不妊治療者の半数以上が治療費に100万円以上かかっており、平均期間が2~5年間ほどです。横浜市では1回15万、10回まで助成しています。

また、神奈川県の子ども医療費助成は、周辺都県に比べて大きく見劣りし、東京23区などでは中学卒業まで助成されるのに対し、

●**不妊治療、出産に対する共助・公助を**・・・多くの方が不妊に悩まれ、諦めてこられたり、金銭面で出産をやめたり、第2子、第3子を諦めたりすることのないよう、「子は国の宝」ですすから地域、市、県も一体となってサポートできる体制にします。

不妊の方への特定治療支援事業の拡充、出産育児一時金の拡充をして、安心して子育てできる環境にしていきます。

横浜市では小学校就学前、川崎市は小学校1年生までと、極めて不十分な水準に留まっています。
次に、中学校給食の実施率が全国ワースト2位。学力は全国学力テストの結果（公立）では、小学校31位、中学校18位。
そして、6人に1人の子どもが「貧困状態にある」と言われ、先進国で最悪の状況です。

- **中学校給食の早期導入**・・・各学校単位で保護者投票を行い、各市町村の実情に合った学校給食早期実現を目指します。
- **学力向上**・・・神奈川県は公立学校は全国平均並です。基礎学力向上、少人数学級の推進し、公立全国1位を目指します。少子化と捉えるだけでなく、少数精鋭と捉え、子ども一人ひとりに真摯に向き合える学校環境、家庭環境作りに努めます。
- **公立高校の定員拡大・私学通学者への助成充実**
- **いじめ対策の充実**・・・川崎で起きた惨劇を2度と起こさないためにも、子ども一人ひとりと向き合える学校作りをします。

- **子ども医療費助成の拡大**・・・最低小学校卒業まで、将来的には中学校卒業までは医療費助成が受けられるよう取り組みます。
- **「待機児童ゼロ」の実現**・・・県内待機児童数は約1,000人。潜在的待機児童も含め、「待機児童ゼロ」を実現します。
- **病児・病後児保育の充実**・・・NPOの活用補助金で軽減
- **学童保育の充実**・・・学童を利用する割合が全国最低となっています。このような課題を解決するため、学童保育の質・両面の充実を推進します。
- **子どもの貧困対策**・・・「子どもの貧困対策法」に基づき、社会保障や学習支援、保護者の就労支援、高校生や大学生の奨学金の充実など、「貧困の世代間連鎖」を断ち切る方策を強力に推進。
- **幼児教育・保育の無償化**・・・国を待っていてもできないなら、率先して全国のモデルケースとなるべく、幼児教育の段階的無償化を実施するよう取り組みます。
- **イクメン支援**・・・ママ支援+パパ支援=幸せな家庭に！

危機管理・災害対策への **不安** を **安心** にする道標

今年で東日本大震災から4年が経ちましたが、復興も心の復興もまだ道半ばです。大きく立ちだかっているのが福島第一原発と言っても過言ではありません。安全神話も崩れた今こそ、10年後の子孫に、誇れる日本を残すべきではないでしょうか？
また、南海トラフ巨大地震、首都直下型地震などがいつ起こるか分かりません。
次に、横浜の中でも特に保土ヶ谷は山坂が多く、昨年の広島での土砂災害がいつ起こってもおかしくありません。区内の「**土砂災害警戒区域**」「**浸水のおそれのある区域**」「**急傾斜地崩壊危険区域**」は多数存在します。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/bousai/hinanbasyo.html#shinsaiji>

- **土砂災害対策**・・・県が把握している土砂災害危険箇所(約10,800ヶ所)のうち、「土砂災害警戒区域」に指定されているのは約6,800ヶ所で、指定率は63%。早期に100%にするよう調査・指定を進めるとともに、住民への情報提供と理解の促進・災害時の対応方法の周知を徹底します。また、ゲリラ豪雨時の危険箇所を早期に把握し、設備の改善や避難体制の整備を行います。

- **原発反対!**・・・原発依存から、再生可能エネルギー・次世代エネルギーへの転換を官・民・ベンチャー一体で推進していきたいです。相模湾で潮力発電、波力発電、風力発電、箱根などの温泉地では地熱発電、ビルやマンションなどの屋上で太陽光発電、各発電分野でのコージェネ・トリジェネの浸透等により、原発依存度を減らしていき、将来的には原発依存をゼロにしたい。
万が一の事故はもうありません。 廃棄物処理の問題も未解決です。危険なエネルギーであることを再認識する必要があります。
- **次なる大地震への対策**・・・小・中学校、高校の耐震化はほぼ100%となりましたので、公共施設や各世帯の耐震化、免震化を推進し、被害を最小限度に止めるべく、安全と安心を守ります。また、都内などへの通勤者も多いため、帰宅困難者が多数発生する恐れがあるので、保護者の帰りを待つ子どもや、家族の帰宅を待つお年寄りなどが安心して生活できるよう、学校や施設での預かり体制の整備、備蓄や情報提供の強化を進めます。
- **消防団の支援**・・・火災や大規模災害時の救助活動、日常警戒活動などに大きな役割を果たしていますが、団員の減少や高齢化が問題となっています。団員の確保を積極的に支援します。

その他重点政策を進めることで **安心** にする道標

- 医療** ● 予防医療で健康寿命 NO.1 へ！
・障がい者福祉の充実。・がんセンター、こども医療センター、精神医療センターの機能強化。・医療・介護従事者の賃金アップ
- 雇用** ● 「ハケン」から「正規雇用」へ！
・労働者派遣法改正に反対！・残業代ゼロ制度に反対！・クビにしやすい「限定正社員」に反対！・特区での雇用規制緩和に反対！

- 安全** ● 警察官の定員拡大を！
・防犯カメラの設置促進 ・高齢者を狙う「オレオレ詐欺」対策(つまらない交通違反切符を切る警察官を他部署への配置換え)
・通学路の安全確保 ・「防犯ボックス」の設置。・感染症対策
・危険ドラッグ対策 ・自転車の安全対策 ・歩車分離化の加速
- 行政・議会改革** ● 増税の前にやるべきことがある！

民主党への **不満・不信** をもう一度だけ と思って頂くために

皆さまのとても大きな期待で実現した政権交代でしたが、沖縄基地問題に始まり対米・対中外交、東日本大震災の対応、消費増税等々。拳句の果て内部分裂という不満・不信・欺瞞・失望と、大きく皆様を裏切る結果となってしまいました。しかし、まだまだやるべきことは山積しています。これらの課題を丁寧に解決し、皆さまの暮らしの幸福度が上がったと実感して頂いた時に、初めて「もう一度」と思って頂けると思っております。全ての国民の皆さまにとっての政党となるべく、こうや清は頑張りを続けることをお約束します。